
サイン

影武者アール

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
サイン

【Nコード】
N1300C

【作者名】
影武者アール

【あらすじ】
子供の時に体験した不思議な話です。

(前書き)

実話です

私の子供時代に体験した話です。

私が小学三年の時、大好きだったおばあちゃんが死にました。でも、おばあちゃんが、この世にいなくなるという実感はあまり感じなかったのです。

生前、おばあちゃんは靈感があつて、亡くなる数日前には鎌を持った死に神が見えるって言っていました。

でも、誰も信じていませんでした。

見えない「存在しない」思っているからです。

亡くなって初めてサインだったんだと知りました。

死んだ人に対して敏感になり始めたのはこの頃からです。

誰もいないのに声が聞こえたり、闇に蠢く影のようなものも見るようになったのです。

ただ怖いというよりはすごく興味がわいたのを覚えています。

いろいろな心霊に関する書物や番組にかなり没頭しました。そういうマイナスの心があるから、いろいろ体験できたんだと思います。

そんな生活の一部分だった為、小さなサインに気づきませんでした。おばあちゃんが亡くなってから七年後。ある日突然やってきました。以前から体がおもつように動かせなくなつたおじいちゃん。おじいちゃんはおばあちゃんが亡くなってからおばさん家で暮らしていました。とても大切に扱われていました。

ただ数日の間に、可笑しな行動をとるようになったそうです。目の見えなかったおじいちゃんでした。おじいちゃんのそばに誰か寄り添っているような感じがあつたそうです。

幸せそうに見えた数日後。

お母さん達は呼ばれました。おじいちゃんに会いにいくと数日前にあった時とは全然変わっていました。体にハリはなくなかなり衰弱していたそうです。

お母さんがおじいちゃんのお見舞いから帰ってきてこの話を聞いたんです。

その夜、私達、姉妹に「おじいちゃん、危ないかも…数日の間に連絡あるかもしれないから覚悟してね」って。

私はそうなんだって、みよーに納得してました。

それから2日後、私は夢を見たのです。おじいちゃんが亡くなってお葬式を済ませ火葬場での別れの場面でした。

みんなに見守られてるおじいちゃんはなんだか幸せそうに見えました。

目から覚めた私は不思議と怖くありませんでした。

夢の話をお母さんに教えようとした時一本の電話が掛かってきました。

そうです。

おじいちゃんが亡くなりました。

形式的にお葬式が進んで火葬場へと向かったのです。

その時、気づきました。夢で見たシーンと一緒にだったからです。しかもおじいちゃんを囲む立ち位置が一緒だったんです。たぶん、あれはおじいちゃんからのサインだったんだと思います。

悲しまなくていいよ。俺は幸せだった…。心配しないでって知らせてるようでした。

亡くなって7日後。最後のお別れの時、みんなで写真を取りました。お茶目だったおじいちゃんらしく天に昇る姿がバッチリと映っていたのです。

今もこの写真を大切にしています。

今度はいつサインがくるか分かりません。

私にサインがあること。

それはきつと大切にしたい心のサインなんだと、今、大人になって

気づきました。

サイン…。

今、あなたにもおくられてるかも知れません。
気づかないうちに…。

（後書き）

読んでくれてありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1300c/>

サイン

2010年10月11日14時02分発行